北杜市

ロタウイルスワクチン予防接種を受ける前に

1 病気の説明

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎に、ロタウイルス胃腸炎があります。乳幼児期（0～6歳ころ）にかかりやすい病気です。

ロタウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入るだけで感染します。乳幼児は激しい症状が出ることが多く、特に初めて感染した時に症状が強く出ます。

主な症状は水のような下痢、吐き気、嘔吐、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴や入院が必要になることがあります。5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因です。

2 ワクチンの説明

ロタウイルスワクチンを接種することで、ロタウイルス胃腸炎による入院患者を約70～90%減らすことが出来たと報告されています。

ワクチンには2回接種するものと、3回接種するものの2種類があり、いずれも同様の効果があります。同じワクチンで、決められた回数の接種をしましょう。

●副反応

〇接種を受けた方の10%前後に、倦怠感、頭痛、局所の腫脹、発赤、疼痛がみられます。
〇重篤な副反応として極めて稀に、アナフィラキシー様症状や急性散在性脳脊髄炎がみられます。

●腸重積症について

腸重積症は、腸の一部が隣接する腸管にはまり込む病気です。腸の血流が悪くなることで腸の組織に障害を起こすことがあるため、速やかな治療が必要です。ワクチン接種から約1～2週間の間は、腸重積症のリスクが通常より高まると報告されています。

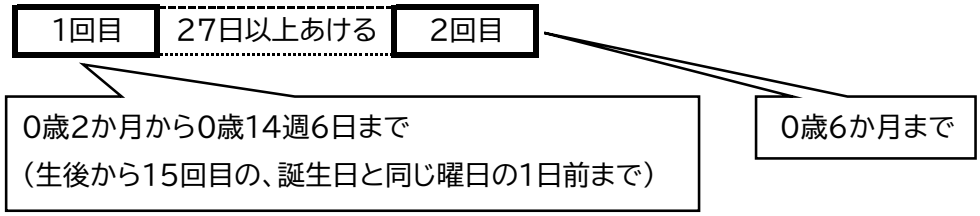
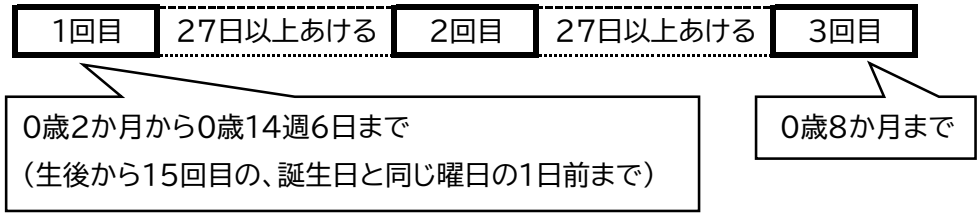
腸重積症の症状には、突然激しく泣く、機嫌が良かったり不機嫌になったりを繰り返す、嘔吐、血便が、ぐったりして顔色が悪い等があります。接種後にこれらの症状が一つでも見られた場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

※腸重積症はロタウイルスワクチンの接種にかかわらず、乳幼児がり患することのある疾患で、稀な病気ではありません。

●接種の標準的な時期　　合計2回、または合計3回接種する

生後2か月から14週6日までの間に1回接種します。1回目と2回目および3回目の間は27日以上の間隔をあけて接種します。

●ロタリックス（経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン）……2回接種



●ロタテック（5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン）　……3回接種